

# 3月のえんだより

## ～笑顔あふれる育ちのひろば～

令和4(2022)年3月2日  
(社福)見真会 明光保育園

寒い冬が開けて、日ごとに春めいてきました。

今年度もコロナウイルス感染症の影響を大きく受けてしまいましたが、「笑顔あふれる育ちのひろば」を保育理念として、子どもを真ん中に置いた保育、子どもが主体的に行動できる保育、そして、保護者の方や地域の方々とともに育つ保育を進めてきました。

四季折々の伝統行事や遊び、身近な自然にふれる遠足、散歩、花や野菜の栽培、日々の成長を精一杯に発揮した運動会や生活発表会、作品展、更に英語遊びや異文化交流などにも取り組みました。

白組(5歳児)では、デイキャンプ、農園体験、平和や人権学習なども行いました。

また、保護者会の支援を受けての「体操のひろば」、「絵画のひろば」、「茶道のひろば」では、いつもと違う体験が好奇心を育み大変好評でした。

子ども一人ひとりの思いを大切に受け止めることで、「やりたい」、「できる」、「できた」が自信につながり自己肯定感を育み、笑顔いっぱい、感性豊かに「生きる力」の基礎がしっかりと備わってきていると感じています。

白組は、小学校へ、青、黄、桃、赤、ひよこ組は、進級に向けて、子どもたちは、期待と喜び、ちょっとした不安を胸に秘めながら「笑顔」をたくさん届けてくれています。

園は、新たな運営体制になって3年を迎えようとしています。

保護者の方々には、新型コロナウイルスの感染防止や行事の縮小、中止など、多くのご理解とご協力をいただき深く感謝いたします。

これからも、子どもたちを主体に保護者や地域の方々に支えられながら、地域の期待と信頼に応えられるよう、より良い保育の提供に努めていきます。

## もうすぐ卒園式・ぴかぴかの1年生!

白組(5歳児)18名は、園生活を終えて、「ぴかぴかの1年生」として、翼を広げ、飛び立ち、光り輝きます。

2年から6年の間、互いに気付き、知り、友だちになり、遊び、楽しみ、争い、ケンカし、協力し、励まし合い助け合うことを通して、同じクラスの仲間として、すばらしいチームワークを築くことができました。

チームワークで運動会、生活発表会、作品展、デイキャンプなど心をつなげて、挑戦し、やり遂げ、大きな自信につながったことは、これからの小学校生活で大きく花開き、飛躍するための礎(いしずえ)になったものと確信します。

4月から海小6名、東小5名、西小6名、南小1名、他小1名に進学です。学校生活がさらに素晴らしく、希望に満ち、持てる才能が発揮できるよういつまでも応援し、見守っていきます!!! 卒園おめでとう!!!

## ひなまつり会

ひなまつり(雛祭り)は、女の子の健やかな成長や幸せを願う桃の節句です。ひな人形は、子どもの病気やケガなどの災い(わざわい)を川に流す「流しひな」の風習が起源とも言われています。また、桃の花には、魔除けの力がある長寿の木と信じられています。

3日の「ひなまつり会」では、各クラスで創意工夫を凝らしたかわいなおひな様を飾って、明かりをつけましょ、ぼんぼりにと「おひなさま」の歌を歌ってお祝いします。

給食は、ちらしずしやお吸い物、イチゴなどの特別メニューです。

作品展開催中。  
3月21日までの  
土、日、祝日



3月の予定

## 野菜収穫!

大切に育てたラディッシュ、白菜を採りました。ちっちゃいラディッシュ、重たい白菜に大喜びでした。ラディッシュは付け合わせ、白菜は胡麻和えて食べました。きゃべつ、おまめも大きくなっています!



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 ひな祭り会 誕生日会	4 啓蒙 (けいちつ)	5 作品展 桃・黄組
6 作品展 桃・黄組 休日保育	7	8	9	10	11	12 作品展 青組
13 作品展 青組 休日保育	14 理事会 身体測定週間	15	16 体操の広場 白・桃組	17 体操の広場 青・黄組	18 お別れ遠足 白、青、黄、桃組	19 作品展 白組
20 作品展 白組 休日保育	21 春分の日 作品展/白組 休日保育	22 避難訓練	23	24	25 お別れ会	26 卒園式
27 休日保育	28	29	30	31 卒園	4/1 新入園 進級	

3月園だより担当  
保育士:今田, 相原 栄養士:酒井 編集:事務長 白木

電話 (082) 823-0366  
アドレス info@kenshin-meikou.jp

## 国際女性デー（3月8日）

1975年（昭和50年）国連が女性の社会参加の環境整備などを目的に制定されました。

イタリアでは「ミモザの日」として、女性に感謝を込めて、母親や配偶者、友人、職場の同僚などに愛や幸福の象徴でもあるミモザの花が贈られています。

## ～保育支援体制について～

子どもたちの活動をより豊かに展開し、発達を支援する体制を導入しています。

- ①創作・造形表現（奥崎）
- ②言語表現（石崎）③音楽表現（相原）
- ④運動機能（木下）⑤知育（原田）
- ⑥食育・健康・安全（今田、酒井、佐々木）
- ⑦園芸・栽培（米田）

## 食育のまとめ

子どもたちが健やかに成長するために重要な「食と健康」に興味を持てるようにピーマンやトマト、きゅうり、キャベツ、白菜などの野菜を育て、収穫し、調理して、給食に取り入れました。嫌だった野菜を「食べれたよ！」と教えてくれる子どももたくさんいました。

四季折々の旬の食材を使用するとともに、日本の伝統文化や行事にちなんだ食べ物を給食やおやつメニューに取り入れながら、食や食品、健康、日本の伝統への関心を深めました。

食中毒防止のため、ばい菌の勉強や手洗いの指導も行いました。

これからも子どもたちの意見を取り入れながら、楽しく、おいしい

食育活動を進めていきます。



## クラスの紹介

### 【ひよこ組 0歳児 11人】

入園当初は、涙がいっぱい出ていた子どもたちですが、今では、保育士との信頼関係が育まれ、誰もが笑顔いっぱいでおもしろいものを見つけると歩いていたり、自分の思いを身振り手振りや片言の言葉で伝えたり、周りとの関わりを求めるようになり、ずっしり重くもなっており、成長を感じます。

食事や午睡などの生活リズムも少しずつ整ってきて、おむつ交換の後には自分でズボン履こうとしたり、「できた」と喜びます。

毎日、保育士と遊んだり生活する中で信頼関係が深まり、季節の歌やわらべうたを聞き、一緒に歌ったり、踊ったり、手を叩いたり楽しむことで心が通い合い、自分の思いを身体全体を使って表現できるようになりました。

赤組への進級に向けては、友だちや身近な人とのやり取りの中で、安心して思いを表すことができるように、また、遊びを通じた体力づくりを支援していきます。

### 【黄組 3歳児 19人】

一年を通して保育園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わい、友だちと生活する中でできまりの大切さに気づき、守ることから集団遊びができるようになり、みんなと一緒に遊ぶ楽しさを発見することができました。

自分の思いが強くなり、自分の思いを通そうとしたり、思いが伝わらず友だちと喧嘩になることもあります。その経験をとおして、譲り合うことや順番を守ることを知り、少しずつ相手の気持ちに気づくことができるようになりました。

ワイシュナビ先生と過ごした日々で英語に興味を持ち、今でも英語で色や物、あいさつなどを言って楽しんでいます。

朝の身支度や排泄、食事、衣服の着脱などの基本的な生活習慣が身に付き、ほとんど自分でできるようになりました。

来年度に向けて、友だちとの関わりを通じて優しい気持ちが育ってきているので、自分たちより下のクラスの子たちにも優しく接したり、思いやりの心が持てるようになり、子どもたちの「やりたい」、「やってみよう」という意欲を大切に「できた」という達成感や充実感がたくさん育まれるように支援していきます。

### 【赤組 1歳児 19人】

今年一年、屋上で身体を動かす遊びを楽しみました。屋上に行くために、初めは一人では難しかった階段を上がった、靴を履くことも、自分でしたい思いが強くなり、今では保育士の手を振り払ってでも自分でしようとしています。

段差から飛び降りたり、マットの上で転がったり、走ったりしながら全身を使った様々な感覚や体験をとおして運動機能が目覚ましく発達してきています。

自分の思いを相手に伝えることができずトラブルになることがありましたが「ちょうだい」、「やめて」など自分の気持ちを少しずつ言葉で伝えることができ、自分の気持ちに折り合いを付けながら遊べるようになりました。

これからは、「したい」、「できた」ことを増やし、自分でやろうとする気持ちと自立心の芽生えを育み、子どもたちが一人ひとり認められ安心してできる環境の中で、心も身体も大きく成長するように温かく支援していきます。

### 【青組 4歳児 19人】

この一年基本的な生活習慣が身に付き、保育生活の中で友だちの関わりをとおして、驚きや発見、感動を共有してきました。共通の経験を通じて友だちとの関わり幅も広がり、友だち同士で考えたり助け合い、一つ一つの行事をやり切る力が付いたり、ルールのある遊びや、ごっこ遊びなど次々と展開してきました。

時には、友だちとのトラブルが起きる時もありましたが、自分の気持ちを言葉で伝えたり相手の気持ちに気付いたり、子ども同士で解決することも見られました。ひらがなや数字にも少しずつ興味を持って、自由遊びであいうえお表を見て、書いてみたり絵本を友だちに読んであげる姿も見られます。

クラス全員の共同製作も「虹」をテーマにみんなで意見を出し合い、ステキな作品が完成する見込みです。

これからは、年中児クラスとしての生活を大切にしながら、年長児に進級することを楽しみに、身の回りのことを進んで行い、異年齢児との交流を通じて年長児への憧れとともに、下のクラスのお手本となるように、優しい思いやりを育み、友情を更に深めていけるよう支援していきます。

### 【桃組 2歳児 18人】

進級当初は、1人遊びが多かったのですが、保育士との関わりの中で友だちと一緒に遊ぶことが増え、今では、ごっこ遊びでのイメージも膨らんで、お店屋さんごっこでは「〇〇はありますか。」「はい、ありますよ。〇〇円です。」など、日常的な会話を通じた、やり取りを楽しんでいます。

朝の支度も4月は1つずつ保育士と一緒にエプロン、口拭き、コップを出していましたが、今では保育士よりしっかりしてき「先生、エプロン入れが出ていないよ。」などと教えてくれたり手伝いをしてくれることも増えてきました。

これからは、「自分で何でもできる。」という意識を育て、食事、衣服の着脱、排泄など、身の回りの基本的なことは1人でできるよう支援しつつ、一人一人の気持ちを受入れながら、個別の欲求や興味、関心を理解し、応えることで、安心してできる環境の中で、周りを思いやれる優しい心を育みます。

### 【白組 5歳児 18人】

この一年、できた嬉しさ、できない悔しさ、友だちと一緒にする心地よさなど、様々な体験をとおして日々成長してきました。また、数字が理解できるようになると時間を意識して食べたり片付けたり、1日の流れに見通しをもって言われなくても準備、片付けを率先して行ったり、子ども同士で伝え合う姿が見られるようになり、友だち同士の関わりを深め、共同して遊ぶようになり、試行錯誤しながら遊びを展開する楽しさや共通の目的が実現する喜びを知り、より良くする姿が見られるようになり、オリンピックが夏、冬にあり、ワイシュナビ先生と英語教室を通じて、世界の国々や日本に興味を深めました。

そこで、共同製作では、地球儀と日本地図を作っています。作りながら、地球儀や地図を見ながら国を探したり、国旗があることを知り、模様の違いや色の違いに気づきながら製作を楽しんでいます。作品展を楽しみにしてください。

これまで、様々なことに挑戦して失敗や成功を繰り返す中で、諦めずやり遂げる力、困った時にはお互いに助け合い、励まし合い、友だちを思いやる優しく強い心と友情が育まれています。小学校でも何ごとにも意欲的に取り組むことができるよう応援しています。